

いじめをしない！

させない！

ゆる
許さない！

あなたへ

あたたかい言葉かけ
運動

あたたかい言葉かけ県民運動

発行：令和4年3月 岐阜県教育委員会学校安全課

制作：岐阜県立土岐紅陵高等学校総合学科美術・工芸系列

＜令和4年度 作品募集＞（4月1日募集開始）

この運動は、思いやりあふれるあたたかい関係を地域社会でつくり出すことで、いじめを未然に防ぐことをめざしています。学校や家庭、地域などで交わした人との「ぬくもり」や「きずな」が感じられる「こころ」をあたたかくする『言葉』をそのエピソードとともに募集します。

詳しい申込方法は、右記QRコードをご覧ください。



「産まれてきてくれてありがとう。」(小学生)

ぼくのお母さんはいつもねる時に「産まれてきてくれてありがとう。」と言ってくれます。この言葉を何回言われたかは覚えていません。でも言ってもらえるとすごくうれしいです。

「お母さんぼくを産んでくれてありがとう。」

「あなたらしくでいい。」(中学生)

この言葉はお母さんがかけてくれた言葉です。当時、私は人間関係で悩んでいました。相手に合わせていくうちに自分自身のことを忘れていきました。ですが、がまんの限界でお母さんに相談をしました。すると、お母さんは「合わせる必要ないんだよ。あなたらしくでいい。」と言ってくれました。

その言葉を忘れずに私は私らしくいます。

「こんにちは。」(中学生)

数日前、走ってみえる外国人の方とすれ違いました。その時「こんにちは。」とあいさつしても、言葉が伝わらなくて返事がありませんでした。ですが、昨日また同じようにすれ違ったとき、今度は向こうから「こんにちは。」と言われ、思わず私も大きな声であいさつしました。生まれた国が違って、少し言葉が伝わるだけで、とてもうれしくなると分かりました。次は私からあいさつします！

「あなたがいるから頑張れるよ。」(高校生)

私の父は病気になってから働けなくなりました。そんな父を支えようと母は休みなく働いています。朝から夜まで仕事で辛いはずなのに、いつも「あなたがいるから頑張れるよ。」と言ってくれる言葉に心を打たれ涙が出ます。私も母に負けないように一生懸命アルバイトをして家庭を支えています。「お母さん今日もお疲れ。今日も頑張ったよ。」

「できた時の喜びは倍以上！」(保護者)

長男が1歳6か月検診で「発達障害かも!？」と言われてから受け入れられるまでにすごく時間がかかりました。先輩ママさんから「焦らなくていいんだよ。この子はこの子のままで。皆より少しユックリ屋さんだけ。それでもできた時の喜びは普通の子の親より倍以上やから」と言われた時たしかにその通りだと思いました。大袈裟ですが「できて当たり前」ではなく「できたことは奇跡」ぐらいに思っています。

「大切な仕事だから」(保護者)

看護師をしている私は、仕事から帰るのが遅くなることが多く、家のことが出来ない状態でした。その状況を家族から指摘され、仕事をやめることも考えなくてはと思っていたところ、娘が「患者さんの命を守る大切な仕事だから遅くなることもあるよ。家のことは手伝うようにするから。」と言ってくれました。私の仕事を理解し、家のことも考えてくれる娘に感謝の気持ちでいっぱいになりました。

「たくさんあるじゃん！」(小学生)

友達としゃべっているとき、「いいところ」の話になった。「何があるだろう」と考えこんでいると、友達が「たくさんあるじゃん！」と言ってくれた。口には出さなかったが、その言葉はとてもうれしかった。

「感謝の気持ち」(中学生)

母と駅のトイレに入った時、ちょうど業者の方が清掃をしていた。母が「お借りします。」と言ってトイレに入った。私も真似をして「お借りします。」と言った。すると、掃除する手を止めて「どうぞ。」とニコッと笑ってくれた。トイレを出る時、母と私が「ありがとうございました。」と言うと、またニコッと笑った。なんだかほっこりした気持ちになった。駅など外出先でトイレを借りる時、感謝してきれいに使おうと思った。

「頑張っていることが1つでもあるならいい。」(高校生)

私の母は昔から、私がテストでどんなに悪い点を取ったとしても怒らない人でした。その代わりに、授業態度や部活動など頑張っているかということをよく聞き、「学生は大変だね。」と寄り添ってくれます。私が1度だけ「どうして何も言わないの？」と母に聞いたことがあります。その時母は「頑張っていることが1つでもあるなら、それでいい。」と答えました。プレッシャーに押しつぶされやすい私に向けて、自然とあたたかい言葉をかけてくれる母に胸がじんわりとしました。

「それも貴方の魅力の一つ」(高校生)

私は皆の前で意見を言ったり、その場を盛り上げたりすることが苦手で、自分の話を聞いてもらう時に相手がどう思っているのかという事ばかり心配してしまいます。私の母は私と真逆で、人と話すのが大好きで、「どうすれば母のようになれるのか」と相談したことがありました。すると「それも貴方の魅力の一つだから、そんなに悩まなくて大丈夫だよ。」と言ってくれました。母は母でいろいろと悩んでいた時期があったようで、昔母が悩んだ話をたくさんしてくれました。母の話を聞いて、私も私で頑張ってみようと前向きな気持ちになれました。

「頑張ってるの知ってるよ。」(保護者)

上手い出来ない事が多く、落ち込んでいる時、12歳の長男に思わず愚痴をこぼした事があります。「お母さん、すぐ落ちこむよね。」と。いつもは、私の他愛のない話を「ふうん。」と聞き流す長男。でも、この時は、私の呟きに「それが普通だよ。」と返してくれました。驚いて長男を見たら、こちらを見ずにぶっきらぼうに「でも、お母さんが色々、頑張っているの、知ってるよ。」と言ってくれました。私がやっている事を見てくれるんだと、子供に励まされた瞬間でした。長男の言葉に、頑張ろうと思えました。

